



Kawasaki Robot e-News はカワサキロボットのお客様に有益な情報やホットな話題を提供する隔月の電子情報誌です。



Semicon Japan 2010

カワサキは12月1日～3日、幕張メッセで開催される**セミコン・ジャパン**に出展します。ご来場の折は是非カワサキブース(3ホール3C-905)にお立ち寄りください。半導体やソーラパネル用のクリーンロボットに関する最新情報をご覧ください。(セミコンJapan <http://www.semiconjapan.org/ja/index.htm>)



適用事例紹介 (KCONG Mill)



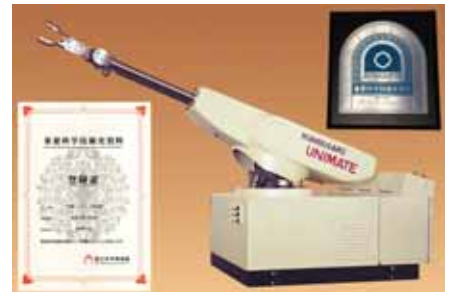
カワサキは、(株)型技術事務所モートと共同で切削ロボットを開発しました。高価なNC工作機械の代わりに比較的安価なロボットを利用したシステムです。今までお使いのCAD/CAMをそのまま利用し、ロボット用CAMソフトウェア**KCONG for MILLING**により教示作業が必要なく、『高精度NCロボット』により、発砲スチロール、軟質ウレタン、硬質ウレタン、パラフィン、クレーなどの材料を精度よく切削加工することができます。3軸加工、固定5軸加工はもちろん、同時5軸加工も可能。既に複数のお客様に導入頂き、様々な切削加工に利用頂いております。

また、2010 FIFA ワールドカップのNIKE イベントで、このミルロボットを使ってNIKE 契約選手(田中マルクス闘莉王)の人体像の切削と、応援メッセージの像への文字切削をNIKE 原宿店で実演しました(写真左)。詳細についてはお気軽にカワサキの販売会社または代理店にお問い合わせください。



川崎ロボットが殿堂入り

川崎重工が産業用ロボットの国産一号機を生産したのは1969年。今から41年も前のことです。その先進技術は日本の経済成長や自動車を初めとする産業発展に大きく寄与しました。その国産初のロボット**Kawasaki-Unimate 2000**(写真右)がこのたび国立科学技術博物館の技術史資料(未来技術遺産)に認定されました。いわば技術の殿堂入りといえるものです。このロボットは神戸市中央区にある博物館『カワサキ・ワールド』に現在展示されています。カワサキワールドにはルービックキューブを迅速に解くロボット『キューブ君』や、その他のカワサキ製品が多数展示されており、楽しめます。(カワサキワールド www.khi.co.jp/kawasakeworld/)



海外拠点紹介 (台湾)

Taiwan Kawasaki Robot Center (以下TKRC)は2001年に設立されたカワサキロボットの台湾での販売・サービス拠点です(写真右)。台湾では6軸ロボットを自動車産業を中心としたお客様に、また半導体やガラスパネルハンドリング用のクリーンロボットを情報通信産業のお客様にご利用いただいています。サービス面でもクリーンロボットを中心に、一般産業ロボットまで多岐にわたるサービスを展開しています。また、24時間の生産体制を取るユーザーが多く、TKRCでも24時間不具合対応ができる体制をとっています。



川崎重工業(株)ロボットビジネスセンター

〒673-8666 兵庫県明石市川崎町1-1
電話 (078)921-2946 Fax (078)923-6548



(株)カワサキマシンシステムズ

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-15-9
電話 (03) 5807-7171 Fax: (03) 5807-7170

URL: www.khi.co.jp/robot/

